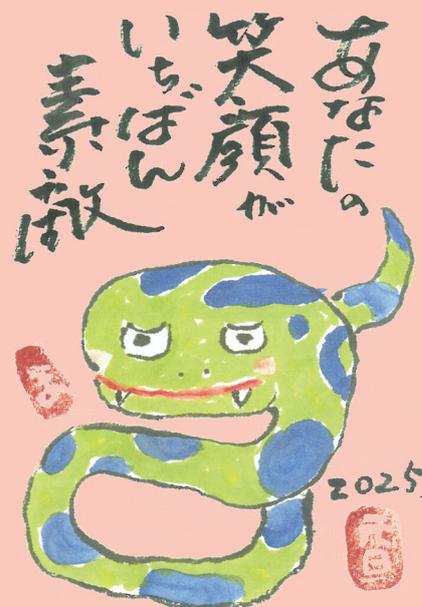


# きょうと シルバーだより

No. 93 新春号 令和7年1月



(写真：「伏見稲荷大社」 堀場 英一会員撮影)



事務局だより

ふれあいの小窓

KSRだより

地域班活動

新年あいさつ



## 新年のご挨拶

理事長 村中 俊文

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、当センターの事業推進に格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、コロナ禍も落ち着きを見せ、我が国経済も、若干不透明感はあるものの、デフレ脱却への前向きな動きがみられるようになりました。そのような中、皆様方のご尽力により、当センターの受注の状況も、少しずつではありますが、回復への明るい兆しが現れてきております。

一方で、少子高齢化や人口減少に伴い、誰もが年齢に関わらず能力や個性を生かして支え合う社会の構築に向けて、大きな制度改正がいくつも行われるなど、当センターとしても、皆様方とともに、社会の動きに的確に対応した事業運営を進めていく必要があると考えております。

言うまでもなく、シルバー人材センターは、就業機会の提供を通じて、高齢者の皆様が、健康で充実した生活を実現し、さらには地域の担い手としてご活躍いただくことで、これからの社会を支える重要な役割を担っており、センターへの期待はますます高まっております

このような地域社会の期待にしっかりと応えていけるよう、令和7年も役職員はもとより、皆様方と力を合わせ、魅力ある、そして活力あるセンターづくりに全力で取り組んでまいります。

結びに、本年も皆様方が安全就業にご留意いただき、益々ご活躍されますこと、そして、幸多き一年になりますことを祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 市長年頭あいさつ ～京都のまちを未来へ繋ぐ～

京都市長 松井 孝治

あけましておめでとうございます。京都市シルバー人材センターの会員の皆様方におかれましては、就業を通じて、社会参加や生きがいづくり、さらには地域を支える担い手として多大な御貢献を賜っており、改めまして心より御礼申し上げます。

市長就任から、1年が経とうとしています。「市民対話会議」では、様々な立場の皆様と対話し、京都のまちを歩き、まちのあり様を見つめ直してきました。

「まち柄」を確認する中で見えてきた、課題と大きな可能性。地域コミュニティや文化、伝統など、京都を支えてくださっている担い手の減少、就職期や結婚・子育て期の方々の市外流出、観光地での混雑等といった課題を改めて認識しました。一方で、京都に魅力を感じた多彩な人々が訪れていること、まちづくりの現場で活躍する若者の姿などに大きな可能性を感じています。

昨年は、人口流出を抑制するため、若者・子育て世帯の定住を促進する「京都安心すまい応援金」の創設や、観光混雑対策として全国初の「観光特急バス」の運行など、これからのまちづくりの芽出しとなる事業を展開しました。

更には、京都の本質的な価値や強みを継承・発展し、令和9年度までに取り組む政策等をまとめた「新京都戦略（骨子）」をお示しました。

今年の干支は乙巳（きのとみ）。努力を重ねながら物事を安定させていく意味が込められています。これまでの取組の芽吹きを大きく育てていくため、多彩な人々が集い、誰もが個性を生かし活躍できる、「居場所」と「出番」のある社会の実現に全力で取り組んでまいりますので、貴センターには、引き続き大きな役割を果たしていただくことを御期待申し上げます。

結びに、貴センターの更なる御発展と、皆様の御健勝と御多幸を祈念し、新年のあいさつといたします。

### 京都市内9箇所在全市一斉の街頭啓発を実施

令和6年10月18日（金）午後1時から（左京区は午前11時から）市内各所でシルバー人材センター事業の普及啓発を目的として、普及啓発チラシの配布活動を実施しました。

各所、10名を超える会員が参加して、チラシを手に歩道を歩く人に「シルバー人材センターがお手伝いします」、「シルバーに入って一緒にお仕事しませんか」などと声をかけながらの配布作業でした。

計121名の会員が1時間ほどの時間で、3,000枚ほどのチラシを配布し終えて、久しぶりに顔を合わせた会員同士が楽しげに話している様子も各所で見られるなど、普及啓発に加え、会員同士の親睦を図る絶好の機会となりました。



### 各区でふれあいまつりに参加

令和6年9月29日（日）に東山区総合庁舎において開催された「東山区民ふれあいひろば」を皮切りに、10月13日（日）に折戸公園で開催の「醍醐ふれあいプラザ」、11月16日（土）に洛西エミナース前で開催の「西京ひろば IN 洛西」において、当センターもブース出展し、チラシの配布などの普及啓発活動を行いました。

また、11月4日（月祝）に開催の「左京区民ふれあいまつり」では、ブースはないものの会場入口付近で、普及啓発チラシの配布活動を行いました。

それぞれの活動には、地域班をはじめ KSR の会員も多く参加いただき、「困ったことがあればシルバー人材センターにご相談ください」などと声をかけながらチラシの配布を行うとともに、同年代の方々には「シルバーに入って、一緒に働きませんか」などと会員増に向けた活動も活発に行いました。

◆-----◆  
 < 令和6年度 > ~ KSR事業活動報告 ~  
 ◆-----◆

実施行事	実施月	実施場所・内容	参加人員
料理講習会	10月(4回)	ラ・キャリエールクッキングスクール	64名
高齢者虐待防止研修会	11月(3回)	北部支部2階会議室	76名
中級研修会	12月(4回)	北部支部2階会議室	各30名
ブロック長研修会	12月18日(水)	北部支部2階会議室	27名
ボランティア活動	2月(予定)	タオル寄贈	

## 料理講習会に参加して

令和6年10月17日(木)に、河原町御池下る「ラ・キャリエールクッキングスクール」にて午前10時から開催されました。

今年の講習会は、いつにも増して応募者が多数あったそうですが、ラッキーなことに私は参加することができました。

講師は、スクールのインストラクターである北村真澄先生で、補助にもうお一人おられました。

今回のテーマ 「イタリアン 簡単手間いらずの魚料理」

メニュー ☆鮭のアクアパッツァ ☆根菜と茸のマリネ ☆ナスとベーコンのトマトパスタ

どの料理も冷蔵庫にある食材に少し買い足すだけでできるような手軽なものでした。

また、自分なりに食材を変えて、鮭を鯛や鱈などに変更してもよいとのことでした。

今回の講習で一番驚いたことは、イタリア料理なのに隠し味に「和」の食材を使うことでした。

アクアパッツァには「塩昆布」、マリネには「ポン酢」、パスタのトマトソースには「白みそ」という取り合わせです。これが思いのほか美味しく、これを読まれた皆様も、一度ご家庭で試していただければと思います。



左京区 滝岡 久に栄

### ふれあいの小窓

～別無工夫 放下便是（べつにくふうなし ほうげすればすなわちぜなり）～

シルバーの会員になったときにシニア人生のスタートラインに立ったのだなあと実感しました。これから先の人生で、社会との関わりを持って歩みたいその中で自分自身の新たな道を開き、歩いていきたいと思いました。

年を重ねてからのチャレンジは、生きていく喜びです。勇気もいります。過去の経験での良かったこと、悪かったこと、すべて自分の宝物ですが、そのことは忘れずにいながらも、すべてをクリアにしてこの先の新しい道を開いていきたいと思います。

今、私はけがをしてしまい、入院、手術を経てリハビリ中です。「左大腿骨頸部骨折」という病名です。この入院などを通じて再認識したのは、お仕事仲間や友人などからの励まし、強い言葉が私を強くいさしてくれたということです。私は一人ではないんだという気持ちになれてリハビリにも頑張ることができました。

一生懸命生きること、働くことは人生の学びです。心を豊かに持ち、人にやさしく、穏やかに、幸せな明日へと向けこれからも前を向いて進んでいきたいと思っています。

編集委員 中川 知恵子

## 地域のツボ紹介

皆様、こんにちは。今回の地域のツボは「そば処」を紹介したいと思います。

「そば処」と言えば、よくテレビやネットなどの口コミでおいしいところが紹介されているのをよく目にしますが、おおむね山里にあるお店が多いように思います。

今回紹介させていただくのも、やはり山里（山科区牛尾山入口）に近い「わらびの里」音羽そばです。

山里というだけに、やはり交通の便が悪く、JR山科駅からタクシーで約15分、京阪バスを利用すると（20、21号系統）小山バス停下車後に徒歩で15分程度の場所にある、十割そばのリピーターも多いというお店です。ちなみに営業時間は11時から17時。

車で行かれる場合は、お店の駐車場が9台で満車となってしまうこともしばしばなのでご注意ください。

開店当初の11時30分頃までくらいだと比較的待たずに入店可能なので早めの来店がおすすめです。

また、そばだけでなく、店の入り口付近には、大阪万博の日本庭園を手掛けた小島佐一作の庭が鑑賞できるので、それもおすすめです。

よろしければ、一度、お尋ねください。

## シニアライフの充実に向けて

シルバー人材センターに入会させていただいて、まだ2年目ですが、幸いなことに入会した年に「50年に1度」という東本願寺の法要に関するお仕事をさせていただくことができ、たくさんの会員の方々とも知り合うことができ、一緒に楽しくお仕事をすることができました。

また、そのお仕事の中で知り合った会員さんたちと一緒にお仕事をしていく中で、様々な方々が出される智慧に学ばせていただいたり、会話の引き出しの多さに驚いたり、たくさんの学びを経験させていただくことができ、「人間一生勉強」を痛感しました。

くわえて、友人が言う「歳いけばいくほど、今日行く、今日の用事がないとあかんねん」の意味が分かった気がします。実は、この言葉を私は最初「教育、教養がないとあかんねん」と聞き間違えたりしていたのですが…

おかげさまで、今は友人と京都トレイルのコースをウォーキングしたり、以前からしている大正琴の演奏で老人ホームへの慰問にいただいたり、毎日、変化のある日々を過ごすことができています。

これからも、心身ともに日々、元気で過ごしていけるよう心掛けたいと思っています。

会員 M. K

## 委員会報告

### ☆就業開拓委員会☆

令和6年10月3日（木）に第4回就業開拓委員会が開催されました。

委員会においては、9月30日で退任された藪内みどり会員の後任として、新開拓員である秋岡資乃子会員が紹介されました。

また、開拓員からの報告では、本年の目標の一つである「シルバーらしい就業の掘り起こし」のために、多くの先を訪問している中での相手先の反応などについての報告があり、今後に向けての展開の仕方について討議されました。

### ☆安全・適正就業委員会☆

令和6年9月24日（火）午前10時から、二条自動車教習所にて京都府警中京警察署の協力のもと「自転車安全講習会」を実施しました。

約30名の参加者を3グループに分けて、「自転車の正しい乗り方」、「安全サポートカーの実車体験」、そして「歩行車（シルバーカー）の実車体験」を順に受講しました。

特に「自転車の正しい乗り方」では、自転車に乗る前のチェックから始まり、乗るとき、動き出すとき、そして停まるときにその都度、後方の安全確認が必要であることや、信号がない交差点などを渡るときの確認方法など、普段は、あまり意識が届いていない部分に対する注意を促される内容でした。

また、最近では、自転車同士の事故、自転車と歩行車の事故が増加していること、自転車の場合、倒れたときに頭を打つと大けがにつながることから、ヘルメットを被る重要性についても話していただき、常にヘルメットを被って運転するよう指導がありました。

実際に当センターでも今年度、自転車同士の事故で複数人がけがをされ、ヘルメットを被っていないため頭に打たれ入院されたケースが複数発生しています。

みなさんも自転車に乗るときは、必ずヘルメットを着けて運転するようにしましょう！



### 人権の尊重について

これまで職場や地域など、社会の様々な場面で人権啓発の取組が行われてきましたが、残念なことに、今なお偏見や差別に基づく発言等がなされることも見受けられます。こうした行為は他人の人格や尊厳を傷つけるものであり、決して許されるものではありません。会員の皆様におかれましても、こうしたことのないようお願いいたします。

## ＝京都市長への要望活動を実施しました＝

8月2日（金）、松井孝治京都市長の代理として、吉田良比呂副市長にご対応いただき、村中理事長、下間副理事長、山村専務理事から、センターへの補助金の確保、京都市からの更なる事業発注、事務所の安定的な利用などについて要望を行いました。加えて、当センターを取り巻く状況について、インボイス制度の導入、フリーランス新法の制定などが事業運営に影響を及ぼしていることなどを説明し、要望書を手渡しました。



吉田副市長からは、「高齢者の健康づくり、生きがい対策として、「居場所」と「出番」づくりを担うセンターの存在は大きい。市の財政状況は厳しいことに変わりはないが、センターへの仕事の発注について引き続き周知を図っており、高齢者の就業機会の創出に努めていきたい。インボイス制度やフリーランス新法の影響が大きいことは認識しており、センターの安定的な事業運営に向けて、市としてもしっかりと応援させていただく。」旨の発言をいただきました。

## － シルバーだよりについて －

日頃は、「きょうとシルバーだより」をご愛読いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、現在は、会員の各戸に地域班の役員の手配りでお届けさせていただいてきた本誌ですが、会員クラウドサービスの提供と合わせ、時期は未定ですが、印刷製本された紙面ではなく、WEB上に掲載させていただく形式に変更させていただきます。

変更時期が決まりましたら、改めて紙面にてお伝えさせていただきますが、当センターのホームページにある「シルバーだより」のバナーをクリックしていただくとご覧いただけますので、そのページをお気に入り等に保存いただければと思います。

また、右記のQRコードを読み取っていただくことで、最新号のシルバーだよりをご覧いただくこともできますので、よろしくお願いいたします。



## 緊急時の連絡先（携帯電話番号）について

事務局の業務時間外（夜間・休日）に、緊急の用件で連絡が必要になったときは、次の携帯電話に連絡してください。

	連絡先・携帯電話番号		連絡先・携帯電話番号
本 部	090-6676-6853	北 部 支 部	090-3978-6848
東 部 支 部	090-6678-5342	全支部共通	080-4014-8376

緊急の用件とは：

- ・就業中の大怪我、就業先と自宅との往復の途中での交通事故
- ・就業先に損害を与えたり、市民の方に怪我をさせた場合 などで急を要するとき

## 配分金の確定申告について

センターから受け取られた配分金等は、税法上は、雑所得として取り扱われ、次に該当するような場合は確定申告の必要がありますので、自主的に申告してください。

1. 配分金収入のみの会員  
103万円を超える配分金収入がある場合
2. 配分金収入の他に年金収入がある会員  
(年間配分金－配分金控除 55万円)＋(公的年金等－公的年金等控除)－基礎控除 48万円－その他所得控除〔扶養など〕＝課税対象所得額がある場合

確定申告についての詳細は、最寄りの税務署にお問い合わせください。

「配分金支払証明書」が必要な方はセンター事務局までご連絡ください。

なお、年間配分金収入が 55 万円以上の会員には、1 月下旬に事務局から郵送します。

監事	監事	専務理事	理事	副理事長	理事長													
岡	田	山	谷	武	祖	小	岩	山	山	本	芳	田	兒	梶	岡	上	下	村
中	中	村	千	久	父	石	城	下	崎	永	賀	中	島	川	本	田	間	中
克	秀	敏	加	辰	江	悦	洋	信	正	治	正	均	宏	哲	清	健	俊	文
彦	雄	雄	子	雄	男	子	一	一	和	彦	昭	均	尚	憲	和	之	文	

会員の皆様のご健康と  
ご多幸をお祈り  
申し上げます。

迎  
春

## 編集後記

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、本年をどのような一年にしたいと考えておられますでしょうか？

昨年は「能登半島地震」に始まり、各地での豪雨災害や異常に続いた猛暑など、自然の怖さを感じた一年でした。

本年は、被災された方々の復興、そしておだやかな一年を過ごしていただけることを切に願います。

シルバーだよりでは、日々の生活の中で皆さまが感じられたこと、身近で起こったこと、日頃考えていることなどのお声をお待ちしています。ぜひ、お気軽に寄稿いただければと思います。

本年も、なにとぞよろしく願いいたします。

令和7年1月1日

発行

公益社団法人京都市シルバー人材センター

〒604-8437

京都市中京区西ノ京東中合町2番地

TEL: 821-2013 FAX: 821-2020